

TAC「国際公務員対策講座」ガイダンスレジュメ

TAC 国際公務員講座講師
Dylan Scudder (スカダー ディラン)

1. まずは自己紹介から

皆さん、こんにちは。今回の講座を担当する Dylan Scudder です。この講座は国際公務員を目指す方へ、あらゆる視点の持ち方や考え方を実践的にトレーニングし、国際機関等に応募するカバーレターの書き方、面接対策としてマンツーマンでのコンピテンシー・インタビューがカリキュラムに組み込まれています。2014年に外務省委託事業である「国際機関向け人材育成研修」をTAC講師として担当し大成功に終わったそのノウハウと、私の国際機関での勤務経験を元に、皆さんの挑戦を後押しします。

では私の自己紹介を簡単にしましょう。私は2004年から日本に住んでいますが、出身はアメリカのオクラホマ州です。昔から外国に対して興味があり、新しい言葉や文化を学ぶことが好きでした。恐らく皆さんも同じでしょう。私の場合は高校生のときに単独でドイツに行くことを決め、高校生活を1年経験したのちにビジネススクールに入りました。もっと勉強をしたいという思いからオーストリアとスペインの大学で提供されていたプログラムで、紛争解決の修士号を取得しました。2つの国での生活と、新たな出会いや多様な国の教授から触発されたこの経験は、私にとって非常に貴重なものでした。

そのあとスイスのジュネーブで国連研修機関でのインターンシップを始めることになり、いよいよこの世界に入ることになりました。インハウスコンサルタントとして、発展途上国に向かう国連スタッフの赴任前準備のコースを組み立ててトレーニングコースを実施しました。26歳のときでした。このトレーニング方法を学びながら、やがて自分で実施するようになりました。

2年後にUNICEF配属となり、ここでは企業パートナーのCSRリサーチ（企業がもつ社会的責任の調査）を主に行ないました。UNICEFのパートナー企業になってもらうかどうかを決めるためには、企業のバックグラウンドに関する調査やレポートを提供する必要があり、やりがいと充実感にあふれる仕事を経験しました。

そして転機が来ました。東京のMBAスクールから講義依頼が来たのです。プロフェッショナルとして成長するために、常に何かに挑戦したいと思っていたので、この依頼を引き受け日本に来ました。国連とUNICEFの経験は、私を日本に招いてくれたのです。

その後、トレーニングとCSRを行なう株式会社を日本で立ち上げ、地雷除去ビジネスのために日本企業とともにコロンビアに行ったり、日本のユニリーバで働き2011年の東日本大震災の被災者のために、社会貢献活動をまとめる重要な経験をしました。この経験をテキストにして、トレーニング教材として使用しています。この講座でも使用していきます。

最後に、国際公務員とは国連をはじめ、UNICEF(国連児童基金)やWHO(世界保健機構)、世界銀行(WB)などの国際機関で働く人を指します。ほとんどの場合修士号を必要としますので、皆さんも専門分野での修士号を取得して、その力を発揮できる国際機関を目指すことになります。この講座に参加して、ゴールまでの逆算を一緒にプランニングしていきましょう。お待ちしております。

II. 本講座の特徴

本講座は、将来、国際公務員として働くことを目標としている方を対象に、国際公務員に求められるスキルおよび国際機関や JPO への応募書類の書き方を指導していきます。

1. 講座概要

本講座は以下の3つのカリキュラムで構成されております。

- (1) ケース・スタディ (全4回)
 - ・様々な問題を解決するために必要なスキルを学びます。
- (2) 応募書類対策 (全3回)
 - ・カバーレター対策
- (3) 総まとめ (全1回)
 - ・本講座の総まとめを行います。
- (4) 面接対策 (全1回)
 - ・コンピテンシー・インタビュー
- (5) 個別カウンセリング (全2回)

※講義はすべて英語で実施します(個別カウンセリングは日本語・英語どちらでも可能です)。

※英語力の目安は TOEIC®TEST800 点以上、TOEFL iBT®90 点以上です。

※本講座は、パソコンを使用する場合がございます。パソコンのご用意はご自身でお願いします。なお、コンセントは使用できないので、必ず充電をしてきてください。

2. 講座内容

以下を繰り返し実施します。

(1) ケース・スタディ

①使用テキスト：「Global Dilemmas」シリーズ

※本テキストは企業間提携について書かれているほか、国連、世界銀行、行政、NGO、その他のステークホルダーといった公共機関についての記述もあります。グローバル・ビジネスや国際機関、日常の仕事に必要な英語表現を学べるようになっております。

②講義の流れ

各講義のはじめに短いイントロダクションの実施

※ここでは、みなさんが講義で学ぶコンセプトやスキルをお話しします。



課題を出題し、グループに分かれて、それぞれのチームで課題を解決

※課題に取り組んでいる間に、適宜、講師がマンツーマンで課題の解決の手助けをすると同時に、みなさんのキャリアの抱負をお伺いしていきます。



各チームで問題の解決策についての短いプレゼンテーションを実施

※これによって、他のチームのメンバーからも様々なことを学ぶ機会を持てるようになります。



各グループの発表に対する講師の所感及びポイント解説を実施

(2) 応募書類対策

①使用テキスト：「講師配付レジュメ」

※講師が講義時に配付します。

②講義の流れ

有効な履歴書やカバーレターを書くためのポイントを解説

※カバーレターとは、英文履歴書に添付する書類のことで、志望動機や自己PRなど、職歴以外のアピールポイントはここに記載します



次に基礎的なテクニックを習得するために、グループに分かれて課題に取り組む



グループごとにプレゼンテーションの実施



実際に履歴書やカバーレターを書いていただきます。

(3) 総まとめ

①使用テキスト：「講師配付レジュメ」

※講師が講義時に配付します。

②講義の流れ

本講座の総仕上げを行います。

(4) 面接対策（1人1回（1回30分））

講師と1対1のコンピテンシー・インタビューを実施します。

コンピテンシー・インタビューとは、面接者の行動、態度、思考パターン、判断基準などが国際公務員として適しているかどうかをみる面接です。

※詳細は第1回の講義時にご説明しますが、本番で多くみられるような、パソコン内蔵カメラを利用して、ご自宅⇄面接会場をつなぐ方法で実施する予定です。

(5) 個別カウンセリング（1人2回（1回につき30分））

講師と1対1のカウンセリングを実施します。

※詳細は第1回の講義時にご説明します。

III. 本講座受講に際してのアドバイスとお申込方法

(1) 講師からのアドバイス

本講座を受講する際に、以下の3点を心掛けてみてください。

- ①まず初めに、将来、どのような仕事がしたいのかを考えるということ。
- ②次に、その仕事をするために、どのようなスキルや知識が必要なのか考えるということ。
- ③最後に、各講義の準備に十分な時間をかけていただくこと。
※より準備をしていただいたほうが講義では、より多くのことを学ぶことができるかと思います。

また、本講座は英語で講義を行います。英語レベルは、TOEIC®TEST800点以上、TOEFL iBT®90点以上が目安です。

国際公務員として仕事をする上で英語は必須ですので、国際公務員を目指す方は必ず英語の学習をしましょう。

(2) お申込方法

お申込みの際は、「国際公務員対策講座」リーフレットをよくご確認の上、TACホームページの「公務員（外交官（外務専門職））」サイトの右上にある「●受付」（「インターネットですぐ申し込む」のバナー）からお申し込みください。各校舎でのお申込みは受け付けておりません。

以上